

技術士 2 次試験に合格して



飯野 智紀

(いいの とものり)

勤務先

**株式会社 NTT ファシリティーズ北海道
サービス事業部**

〒060-0001 北海道札幌市中央区北 1 条西 10-1-21 ユーネットビル
TEL 011-207-7111 FAX 011-272-2514
E-mail iinoto22@ntt-f.co.jp

■ 専門：電気電子部門(電気設備)

1. 自己紹介

私は 1981 年に千葉県で生まれ、東京理科大学大学院を卒業後、NTT ファシリティーズに入社しました。入社後、埼玉支店で通信用電源装置(整流装置、UPS)の保守業務、研究開発本部において、新たな整流装置の開発及び国際標準化活動、その後本社技術部に異動し、通信用電源装置の導入方針制定、社員の育成計画及び研修の企画・運営に従事しました。2014 年 7 月に北海道に転勤し、通信用電源装置の導入提案、太陽光発電所の構築に従事しています。

2. 技術士試験受験の動機

私は、全ての電気設備を自分で管理できることを目標に、「電気主任技術者」、「消防設備士」など様々な資格に挑戦してきました。研究開発本部所属時には技術士を取得した先輩がおり、その先輩の考え方のスマートさや課題解決力に接し、「いつか自分も合格したい」と漠然と憧れていましたが、その難易度の高さにしり込みしていました。その後、本社で育成計画を立案し、技術士の取得を推進する立場となり、難易度及び役割、責任を改めて調べたことをきっかけに、目標に近づきたいと思い、受験を決意しました。

3. 試験対策

筆記試験対策として、まず知識の習得を第一に白書や学協会の提言書などを通読し、社会が現在抱えている課題、及びそれに対する解決策を理解し、さらに自分なりの考えをまとめました。特に私が携わっているビルの多くは無人の通信ビルであり、入居者・利用者がいる集合住宅やオフィスビルとは電力の利用形態が異なっているため、照明設備、空調

設備や防災システムを中心に勉強しました。また、近年は東日本大震災や原発停止により、防災や省エネが話題となっているため、再生可能エネルギーの利用、需給システムのスマート化についても理解を深めました。問題を解く際は、PC を使わず、試験時と同じように紙に書くことを心掛けました。実際に書くことで自分の考えを整理でき、さらに後日読み返し、客観的に見ることで、不足部分がわかるようになりました。また、解答用紙 1 枚の作成時間も把握でき、当日の時間配分を考える上でも重要でした。

口頭試験は、受験者が技術士に相応しいか確認することを念頭に、今までの業務を振り返り、課題に対する複数の解決策や選んだ解決策の妥当性を説明できるように練習しました。特に失敗体験について、深掘りを行い、同じ失敗を繰り返さないためには何をすれば良いかを考えました。面接時は緊張のあまり頭が真っ白になり、うまく回答出来ない場面もありましたが、今までの経験や知識を最大限発揮できたのではないかと思います。

合格発表日、官報に私の氏名が載っていたのを見たときは、合格の嬉しさと同時に、技術士として社会的責任の大きさを感じました。

4. 最後に

技術士の合格をゴールとせず、先輩技術士とのつながりや各委員会への参加を通じ、自らの技術力の向上に努めつつ、後輩の指導をはじめ、次世代を担う子供たちが科学への関心を高められる活動をしたいと思います。

最後に、お世話になった皆様にお礼申し上げますとともに、本会誌に投稿の機会を与えて頂き、誠にありがとうございます。